

平成 30 年度 全建賞を受賞しました

このたび、当社が施工した『門島地すべり対策事業』（発注者：静岡県浜松土木事務所・設計者：日本工営株式会社）が平成 30 年度 全建賞【河川部門】を受賞し、『「平成 30 年 7 月豪雨」道路の早期復旧による社会・経済活動の支援及び鉄道・高速道路の早期復旧支援』（発注者：国土交通省中国地方整備局広島国道事務所）が全建賞【道路部門】（一般社団法人 全日本建設技術協会 主催）を受賞しました。

全建賞は、我が国の良質な社会資本整備の推進と建設技術の発展を促進するために設けられ、昭和 28 年（1953 年）の全建賞創設以来、日本の社会経済活動を支える根幹的なインフラ整備や、その時々の国民ニーズに沿った幾多の取り組みに授賞がなされてきました。

通算で 66 回目となる今回、『門島地すべり対策事業』及び『「平成 30 年 7 月豪雨」道路の早期復旧による社会・経済活動の支援及び鉄道・高速道路の早期復旧支援』は 314 事業中、80 事業の内の一つにそれぞれ選ばれ、令和元年 6 月 25 日（火）アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）において、鈴木和夫代表取締役社長は、大石久和一般社団法人全日本建設技術協会会長より表彰状並びに記念品を授与されました。

◆門島地すべり対策事業 全建賞【河川部門】

【事業概要と評価】

人家が多数立地する台地斜面に繰り返し発生した崩壊及び河道閉塞の決壊の恐れに対して、緊急的に実施した対策工事。リアルタイムの監視体制を構築し、検討委員会を設置して地すべり機構の解析や住民の避難誘導等についての的確に判断しながら、無人のロッククライミングマシン等により短期間で安全に工事を完成させた点が評価されました。



◆「平成 30 年 7 月豪雨」道路の早期復旧による社会・経済活動の支援及び
鉄道・高速道路の早期復旧支援 全建賞【道路部門】

【事業概要と評価】

平成 30 年 7 月豪雨により 45 箇所の被災を受けながらの早期復旧と、円滑な交通確保のための効果的な交通マネジメントの取組み。JR 呉線と広島呉道路の早期復旧のために、迂回路により交通を確保している国道 31 号の用地を土砂置き場等として提供し、活用してもらうことで、復旧時期の前倒しを実現させた点や、災害時の交通マネジメントという新しい視点から渋滞対策に取り組んだ点が評価されました。

